

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [新しいSARS様のウイルス感染症](#) | [TOP](#) | [大腸ポリープについて](#) >>

2016年03月19日

## 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

### 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

小児科Vol. 57 No. 1 2016より



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、2011年に中国から新種のウイルスSFTSVによる新興感染症として報告されたダニ媒介性感染症で、わが国では2013年1月に、山口県で初めて確認されました。刺し口が確認できない場合も多く、つつが虫病では90%以上で、また日本紅斑熱では80%程度で刺し口が認められるのに対して、SFTSでは45%と半数に満たないとの事です。

SFTSVに感染すると、6日~2週間の潜伏期間を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、眠気、嘔吐、下痢、腹痛、等)が多く症例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状を起こし、重症化すると、血球貪食症候群や多臓器不全を起こして死亡することもあります。また、血小板減少(10万/mm<sup>3</sup>未満)、白血球減少、血清フェリチンの上昇や骨髄での血球貪食像も認められることがあります。

屋外での活動には長袖、長ズボン、手袋、首にマフラーなどを着用する事が大事です。

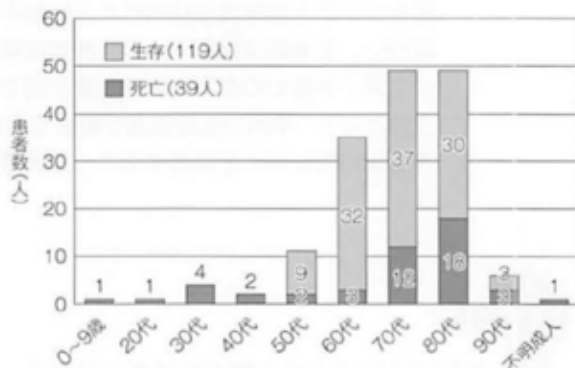


図2 重症熱性血小板減少症候群年代別転帰 (2013年1月1日~2015年12月9日) (国立感染症研究所:病原微生物検出情報(IASR)より作成)

### 最近の記事

- (01/15) [武漢の新型肺炎：コロナウイルス](#)
- (01/14) [75歳以上の高齢者における脂質異常症の治療](#)
- (01/11) [降圧剤は就寝前服用が効果的](#)
- (01/10) [肺血栓塞栓症の診断](#)
- (01/08) [実地医家にとって迅速診断は命](#)

### 最近のコメント

- [脳卒中の再発予防のための血管管理](#) by (01/04)
- [過睡眠は脳卒中の危険因子](#) by (12/22)
- [過睡眠は脳卒中の危険因子](#) by (12/22)
- [結腸憩室炎の予防と食事の関係](#) by (12/22)
- [舌圧子とK-ポイント](#) by (12/14)

### タグクラウド

### カテゴリ

- [小児科](#)(188)
- [循環器](#)(194)
- [消化器・PPI](#)(114)
- [感染症・衛生](#)(65)
- [糖尿病](#)(108)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(82)
- [インフルエンザ](#)(94)
- [肝臓・肝炎](#)(60)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(43)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(38)

- 整形外科・痛風・尿酸血症(28)
- ワクチン(30)
- 癌関係(10)
- 脂質異常(28)
- 甲状腺・副甲状腺(17)
- 婦人科(8)
- 泌尿器・腎臓・前立腺(29)
- 熱中症(7)
- 日記(17)
- その他(63)

過去ログ

- 2020年01月(7)
- 2019年12月(14)
- 2019年11月(15)
- 2019年10月(18)
- 2019年09月(18)
- 2019年08月(14)
- 2019年07月(14)
- 2019年06月(16)
- 2019年05月(14)
- 2019年04月(18)
- 2019年03月(19)
- 2019年02月(19)
- 2019年01月(15)
- 2018年12月(16)
- 2018年11月(20)
- 2018年10月(20)
- 2018年09月(18)
- 2018年08月(24)
- 2018年07月(18)
- 2018年06月(18)
- 2018年05月(20)
- 2018年04月(19)
- 2018年03月(20)
- 2018年02月(14)
- 2018年01月(14)
- 2017年12月(20)
- 2017年11月(17)
- 2017年10月(22)
- 2017年09月(18)
- 2017年08月(20)
- 2017年07月(23)
- 2017年06月(19)
- 2017年05月(19)
- 2017年04月(22)
- 2017年03月(20)
- 2017年02月(18)
- 2017年01月(21)
- 2016年12月(17)
- 2016年11月(25)
- 2016年10月(22)
- 2016年09月(21)
- 2016年08月(20)
- 2016年07月(26)
- 2016年06月(27)
- 2016年05月(24)
- 2016年04月(24)
- 2016年03月(25)
- 2016年02月(23)
- 2016年01月(23)
- 2015年12月(22)

以降はカテゴリーで検索してくだ



図3 重症熱性血小板減少症候群発生状況

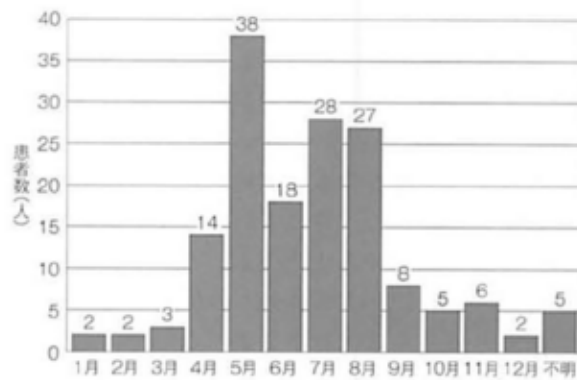


図4 重症熱性血小板減少症候群月別発生患者数 (2013年1月1日~2015年12月9日)

私見)

今は西日本が中心ですが、動物の抗体を調べると、全国に広がる危険性が指摘されています。にわかに、色々な文献が紹介されています。まとめて掲載いたします。山での散策には充分注意してください。

[ニュース.pdf](#)

[マダニ咬症による感染症.pdf](#)

[ダニ媒介性ウイルス.pdf](#)

0	0
---	---

ブックマーク

- 【感染症・衛生の最新記事】
- ※ [溶連菌感染症にはペニシリン系](#)
  - ※ [〇熱](#)
  - ※ [伝染性紅斑は再発\(再燃\)する](#)
  - ※ [麻疹感染に対するお願い](#)
  - ※ [日本紅斑熱とツツガムシ病の見分け方](#)

さい。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

この記事へのコメント  
コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

